

小学校 第6学年 道徳学習指導案

(1) 主 題 こんな自分になりたいな

(2) ねらい 童謡「打出の小槌」におけるみすゞさんの気持ちについて話し合うことを通して、今の自分に必要なものや自分なりの大人像についての気づきを深め、それに向けて希望と勇気を持ち、くじけないで努力しようとする心情を高める。1-(2)

(3) 学習過程

学習活動・学習内容	子どもの心の動き	指導上の留意点(評価)
1 打出の小槌を使って出したいものを発表し合う。 ・ 学習課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲーム機やソフト、携帯電話がほしいな。 ・ 欲しいものがたくさんあるからお金そのものを出す。 ・ 自分たちに必要なものについて考えたら楽しそうだ。 	新年度の誓いや日記を読み聞かせたり、打出の小槌の絵を示したりして、欲しいものを出し合うことを通して、本時の学主課題をつかませる。
学習課題...今の自分に必要なものについて考えよう。		
2 資料を読んで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ みすゞさんなら知ってるよ 	補助資料で理解を促す。
発問1...初めに出したいと思ったものはどんなものか。自分たちとの違いはどんな点？		
<ul style="list-style-type: none"> ・ みすゞさんへの親和感 ・ 欲しいものの異同 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何がほしいのかな？ ・ 食べ物、高価なもの、動物、実在しないものもあるぞ。 ・ 高価な品物(時計)などは自分たちと似てる。自分たちに食べ物はないな。 	まず、1連だけを示し、みすゞさんの思いを多様に想像させた後、2連のみすゞさんの願いと自分たちの願いの異同について気づきを深めさせる。
発問2...みすゞさんの願いはどう変わっただろうか。違いはどんな点でしょうか。		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大人や大人になることへの興味、関心 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お金で買えるか買えないか ・ 今手に入る物と入らない物 ・ 楽しい物と楽しいかどうか分からないものでもある。なぜ、大人に憧れるのかな。 	2,3連の違いを話し合わせ、みすゞさんの気持ちを共感的に理解させるとともに、今と将来が連続している点に気付かせる
発問3...みすゞさんは、どんな大人になって、どんなことをしたいのだと思いますか。あなたが納得するのは、どんな大人ですか？		

<ul style="list-style-type: none"> ・ みすゞさんの大人像 ・ 自分なりの大人像 <p>3 自分の生活を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもではできないことをして楽しみたい。楽したい ・ 一寸法師のように悪者退治をしたいのかも ・ <u>楽ではないかもしれないけど、家族や社会のために生きる大人になるっていうのはいいものだなあ。今やれることはどんなことかな？</u> 	<p>打出の小槌を使えば何でも出せる状況で、「大人になりたい」と願うみすゞさんの思いを共感的に想像させることで、自分なりの大人像に改めて気付かせる。</p>
<p>発問4... あなたは、どんな大人になり、どんなことをしたいですか。そのために、今、何をしますか。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分なりの具体的な大人像。 ・ 今、やりたいこと ・ よりよく生きようとする気持ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ だれにも優しく、たくましく働く大人。家族を大切にできるといいなあ。 ・ たくさん勉強をして、健康な生活をしたい。 ・ どんな職業に就くかどうか分からないけど、友達がたくさんいる大人がいいな。 ・ 自分の努力が「打出の小槌」だ。友達も「打出の小槌」。 	<p>教師なりの「打出の小槌」の意味について話し、一人ひとりの大人像が明確になるようにする。自分なりの具体的な大人像（人柄、行動、実現したいこと等）やそれに向けて今やりたいことなどについて考えを深めようとしたか。（プリント）</p>

メモ